

板橋口地区公益エリアの整備に関する説明会での主な質問・意見について

令和6年3月14日（木）、16日（土）実施

意見・質問	区の回答／考え方
メインターゲットに高齢者が含まれていない。65歳以上は退職しており、ターゲット層となるのでは。時間もあるので、いろいろな活動ができる。そうすると、別の起点で活性化ができるのでは。	人を呼び込む、にぎわい施設にしたいと考えている。ターゲットは設定しているが、多世代に利用して欲しいと考えている。高齢者のニーズも踏まえ、検討を進める。
動線について、滝野川口、西口の自由通路と公益エリアの部分をお伺いしたい。駅から公益エリアまで跨線橋でつながるのか。	跨線橋の設置の予定はない。地下からの動線は設置予定。公益エリアでは、駅前広場側、「マルジュー」側にビルの入口が設置される予定。改札を経由して、滝野川口と西口がつながる形となる。
公益エリアの利用想定について、通常時は自由に使えるとの記載だが、集会所のようなイメージか。	集会所だと団体での申請、利用。公益エリアでは、開放スペースで個人単位でも自由に利用できるようにすることも想定している。
板橋区民しか使えない施設か、他の地域の方も使えるか。	にぎわいと交流、発信の拠点として、人を呼び込んでいきたいと考えている。区民に限らず、区外の方の利用も想定している。区内への回遊を促すなど、より多くの人に利用してもらえる施設としていく予定。
ハイレイフプラザはなくなってしまうのか。	ハイレイフプラザについては、閉館の計画はない。
一目で板橋区のことわかる常設スペースを設けてほしい。4階までの誘客要素にもなる。	公益エリアは、板橋区の魅力が伝わる、情報発信の場にしたいと考えている。他の地域の魅力的な資源に誘導できるような仕掛けも公益エリアに設置できると良いと考えている
演奏や会議など異なる利用目的で使用する場合、揉め事、制限が増えてしまうのでは。交流スタジオ内で同時に異なる利用が発生することあり得るのか。	太鼓演奏等は難しいが、一定程度の防音は確保予定。運用上で、利用予約時点等で利用者とコミュニケーションをとりながら運用上で対応していく予定。